

令和7年度 並木地域ケアプラザPDCAシート_公表用（事業計画書、事業報告書、事業実績評価）

—總括表—

◆ 事業計画

☐ 地域の現状と今後の方向性	
【シーサイドタウン地区】昭和50年代から作られた大規模な団地地区。高齢化率は地区全体では40%程であるが一丁目では約45%と非常に高い。エレベーターが無かったり、隔階止まりだったりする住宅が多く、歩行が困難になると閉じこもりとなるリスクが高くなる。介護保険サービスのニーズに対し、ケアマネジャーが見つかりにくい状況がある。 【富岡第一地区】丘陵地の戸建住宅からなる地区。高齢化率は25%程であり、戸建て分譲住宅に子ども連れ世帯が転居している。商店が少なく、バス路線から買い物は杉田方面に行く方が多い。丘陵地であるため、歩行が困難になると閉じこもりのリスクが高くなる。 【今後の方向性】できるだけ住み慣れた地域で自立して生活していけるように、フレイル予防・介護予防を進める。介護保険以外の社会資源を把握・発信・活用し、高齢者の生活を支える。担い手不足が両地区とも課題であり、ケアプラザの事業やつながりを活かし、担い手を発掘していく。第5期地域福祉保健計画の策定に際し、ケアプラザで把握している個の困り事も発信し、計画で取り組めることを地域とともに検討する。	
☐ 今年度の重点的な取組	
新規	継続
ー具体的な取組内容ー	
☒	☐ 生活支援に資するボランティア団体や民間事業者との連絡会を実施し、高齢者の生活を支える団体同士が連携を図れるように進めて行く。
☐	☒ 認知症への理解・普及啓発をチームオレンジの活動を通じて地域で推進する
☐	☒ 担当地区における地区社協及び民児協定例会への定期的に出席し、顔の見える関係づくりを行うと共に、地域ケアプラザの自主事業の発信や、相談傾向の共有、個別ケースの相互相談等を実施する。
☒	☐ 第5期地域福祉保健計画 地区別計画について、地区支援チームの中でも最も地域に身近な支援機関として地域
☐	☒ 要支援者の介護予防ケアマネジメントを適切に実施するため、非常勤職員の雇用の確保・育成・定着させる。

◆ 事業報告・事業実績評価

☐ 振り返り
☐ 区からのコメント